

『選ばれる』 作：ポチ子

『選ばれる』 作：ポチ子

自分の番号は飛ばされて、

立ち上がったのは隣の子。

選べない私。

選ばれるあの子。

何もかも違うのだ。

そういう人生だから。

生きてる年数は大体一緒で、

それなのに選ばれるあの子は、

私より出来ることが多い。

出来ることが多いから選ばれるのか、

選ばれるから出来ることが多いのか。

それは人によって、

解釈が違いそう。

そう思おうと思えば、

思えるものだから。

でもね、

選ばれるあの子だから、

聞こえが良い方を、

選んでもらえると思うの。